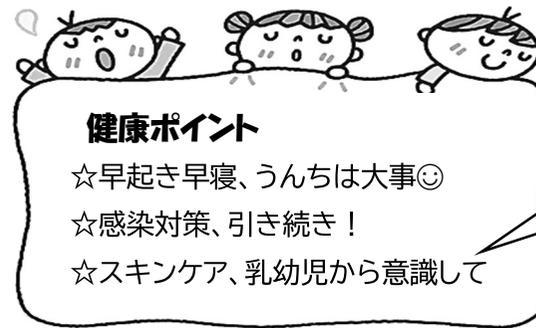




2022年11月 新中央保育園 No.11

朝晩は寒くなりましたが、子どもたちは園内外で元気よく活動し、汗をふいている姿も見られます。脱ぎ着しやすい上着などで調節し、半そでと長そでを上手に使い分けていきましょう。とくに0, 1, 2歳児はまだ体温調節が苦手です。暑さ寒さに対応できる着替えの準備をお願いします。



健康ポイント

- ☆早起き早寝、うんちは大事☺
- ☆感染対策、引き続き！
- ☆スキンケア、乳幼児から意識して



毎日スキンケア



お子さんにかきグセは見られていませんか？かくことをくりかえすことで炎症をおこし皮膚炎になってしまいます。

【 秋冬も 清潔・保護・保湿が大切です 】

気温が下がると湿度が低くなるため、肌がかさかさしやすくなります。お風呂上がり、登園前にしっかり保湿して、肌のかさつきやトラブルを防ぎましょう。乳幼児のケアが大人になった時の肌質にも影響するようです。



爪ケアでタッチケア



子どもの爪は柔らかくてわれやすいものです。特に1歳代ではかみつみやひっかけなどのトラブルが多く見られます。1週間に一度はチェック！短くカットし、やすりで丸く整えましょう。忙しい毎日ですが、肌に触れる＝親子の心の癒しにもつながりますよ。



歯科・内科検診のお知らせ

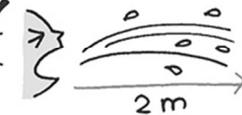
9/21 歯科検診終了、11/4 内科検診が行われます。検診で”虫歯“や”要検査“など診断されたお子さんはお知らせしますので、早めに受診し結果をお知らせください。

ウイルス、どうやってうつる？

風邪のウイルスは、感染している人のせきやくしゃみ、会話の際のしぶき（飛沫）と共に飛び散ります。また、唾液や鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったことで感染します。



① ウイルスを含むしぶきを吸い込む



せきやくしゃみのしぶきは2mほど飛ぶので、近くの人が吸い込むと感染します。

② ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る



ウイルスが付着したものに手で触れると、ウイルスが手につきます。ただし、手についただけでは感染しません。

ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染！

手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかり泡立てて、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。